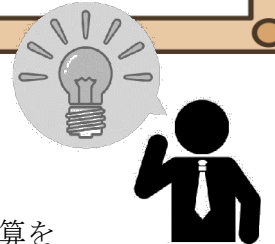


和地ひとみレポート No.255

公表された平成30年度予算編成方針・・・

予断を許さない状況だからこそ、キラリと光る工夫を



■平成30年度予算編成がスタート

…前号で、昨年度（平成28年度）の決算について取り上げたところですが、10月4日には、来年度（平成30年度）の予算編成方針が公表されました。毎年、東大和市では10月に翌年度の予算編成方針が発表され、そこから3月の市議会定例会中に開催される予算特別委員会で示す予算案の作成に向けて、下記のスケジュールで予算編成が行われます。

実施予定日	実施内容
平成29年10月30日	見積書提出期限
平成29年11月9日～24日	企画財政部長調整
平成30年1月5日～11日	市長査定
平成30年1月24日	予算内示
平成30年2月上旬	予算案の決定

…東大和市では、一般会計予算についてのみ、下記の通り、予算編成の各段階での状況をホームページで公表しており、編成過程がどのような状況なのかが示されます。

① 予算見積額の集計状況

歳入、歳出の見積額を提示。また、様々な事業の見積額を集計した額と財源を比較して、不足しているかないかなどが示される。ちなみに、昨年度は、この時点で、約17億100万円の財源不足が生じていた。

② 予算見積額の調整状況

11月中旬から約1か月間、企画財政部・財政課による予算見積額等を調整。何をどのように調整したのかが公表され、その結果が示される。その後、市長による予算査定と、国や東京都予算との関連事項との調整を行い、2月初旬を目途に翌年度予算を確定していく。

③ 予算見積額の査定等の状況(予算案の確定)

1月上旬から中旬までの期間において、市長による予算見積内容等の査定を実施。当初予算における優先施策を中心に実施計画で定めた主要事業等に関し、全体的な調整を行う。また、この時期の前後に発表される国や東京都の予算に関連する事項について調整を行い、東京都の予算関連として、主に都税に連動する歳入予算(地方消費税交付金等)の額を調整。一般会計の翌年度予算額(当初予算案)を決定する。

■予算編成方針は

…東大和市の財源は、市税を主とした“自主財源”のほかに、国の予算に基づき交付される“地方交付税交付金”や、東京都の予算に基づき交付されるものなども多く含んでいます。よって、市の予算編成にあたっては、国、東京都の予算編成を鑑みる必要があります。

…また、その他、東大和市の予算を編成する上で留意しなければならないのは、“東大和市独自の状況”です。これについては、先日、認定された平成28年度の決算状況を参考に示されています。予算編成方針は、各事業などの予算を編成する担当部(国の場合は省庁)に向けて発せられるもの。それぞれの取組み施策や事業を確実に、かつ予算内で実行できるように予算編成は行われていきます。

【国の予算編成の(各省への)要求・要望項目の概要】

- ◆年金、医療等に係る経費については、前年度当初予算額に高齢化等に伴う増加額として6,300億円を加算した額の範囲内において要求する。なお、増加額について、経済再生やこれまでの改革等の効果を引き続き適切に見込み、合理化・効率化に最大限取組んだ結果を反映させる。
- ◆地方交付税交付金等については、「経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ、要求する。
- ◆義務的経費については、前年度当初予算額の範囲内で要求する。なお、聖域を設けることなく、制度の根幹にまで踏み込んだ抜本的な見直しを行い、可能な限り歳出の抑制を図る。
- ◆その他の経費については、前年度当初予算額の90%の範囲内で要求する。
- ◆予算の重点化を進めるため「人づくり革命」の実現に向けた人材投資や地域経済・中小企業・サービス業等の生産性向上に資する施策をはじめ、「経済財政運営と改革の基本方針2017」及び「未来投資戦略2017」等を踏まえた諸課題について「新しい日本のための優先課題推進枠」を措置し、各省は要望基礎額の30%の範囲内で要望を行うことができる。

【東京都の予算編成方針のポイント】

- ◆平成30年度予算の位置づけは「将来を見据えて財政の健全性を堅持しつつ、東京2020大会の成功とその先の未来に向け、東京が持続的成長を続けていくため、都政に課せられた使命を確実に果たしていく予算」とする。**基本方針**①東京が直面する諸課題の解決と成長創出に向けて果敢に取り組むとともに、3つのシティの実現、「新しい東京」の創出をめざし、東京の持つ無限の可能性を引き出す取組を積極的に推進すること。
- ②中長期にわたって施策展開を支える強固な財政基盤を堅持するため、従来にも増して創意工夫を凝らし、より一層無駄の排除を徹底するなど、ワイズスペンディング(賢い支出)で都民ファーストの視点に立った取組を推進すること。
- ③東京2020大会の開催準備に係る取組を着実かつ効果的に進めることとする。

(裏面に続く)

■市の財政状況の認識は

…前述のとおり、市が予算編成を行うにあたり考慮しなければならないのは、市の財政状況です。今回の予算編成方針にも、平成28年度の決算状況をもとに、市の財政状況の認識が示されました。そのポイントは、

- ◆H28年度の一般会計(普通会計)は実質単年度収支が約7,500万円黒字になり、財政の持続性につながる内容だった。
- ◆歳入では、緩やかな景気回復基調を反映し、給与所得の増加に伴い、市民税個人が増額するなど、市税の総額は前年度と比較して約3億6,200万円増。一方、地方消費税交付金が前年度と比較して約1億8,400万円減になるなど、都税に連動する各種交付金は総じて減収。地方交付税のうち普通交付税は、市税の増額に伴い前年度決算より約9,600万円の減。
- ◆歳出は、人件費や補助費等が減になり、特別会計への操出金の総額も微減となったが、障害者福祉費、児童福祉費及び生活保護費などの扶助費が前年度と比較して約5億4,700万円増の約110億6,800万円となった。
- ◆経常経費に必要な一般財源の総額は前年度と比較して約1億2,200万円増の153億5,200万円となり、経常経費の抑制が一層必要になる。
- ◆平成28年度の決算においては、経常収支比率は増加したが、積立基金の活用により、必要な財源を確保し、抱える課題への対応や市民サービスの向上が図られたと考える。現在、景気は緩やかな回復基調が続いているとされているが、先行きの動向に不透明な要素もあり、少子・高齢化社会の進展に伴う社会保障関係経費の増加などを考慮した場合、市財政を取り巻く環境は、今後も一層厳しい状況になることが見込まれる。

■東大和市の予算編成方針は

…東大和市の来年度予算編成方針では、「国の『経済・財政再生計画』との整合性において、行政経費の抑制と業務改革の推進状況を反映する方向性が示されており、その見積もりに当たっては、今後、国が策定する地方財政計画等の内容を十分に注意する必要がある」と述べられているように、東大和市の歳入額を見積もる際、「例年、このくらいだから…」といった短絡的な感じにはいかないことが示されています。

…また、歳出については、「障害者福祉費の拡充や待機児童対策としての小規模保育園の開設等による扶助費の増加」や「市債(市の借金)の元利償還費である公債費についての増加」「高齢化社会の進展に伴う医療・介護に係る費用の伸びにより、一般会計から特別会計への操出金に引き続き影響を与える」ことを見込んでいます。

…このような、歳入・歳出の大きな見通しのもとでの来年度の予算編成については「主要事業等の財源確保が大きな課題となり、非常に厳しい編成作業になることが見込まれるが、持続可能な姿勢を目指す中で、市民サービスの向上を図ってほしい」とされています。

■キラリと光る工夫を

…行政運営を行う上で、継続性は大切なことであることは間違いありません。来年度の予算編成方針で示された方向性や優先施策については、特に目新しさはありませんが「目新しくない＝ダメ」ということではないと思います。しかし、一方で「予断を許さない財政状況の中で、課題を解決し、目標を達成するために、どのような工夫、改善をして予算を組んだのか」ということを示すことは必要です。劇的に増えることは想定できない歳入に対し、やるべき行政サービスの質・量ともに増加している状況を考えれば、「何かを削るか」「やり方を変えるか」しなければなりません。行政の中で「無駄を削る」ことは当然ですが、「何かを削る」ことは困難なことを考慮すれば「やり方を変える」といった工夫が必要になってきます。

…予算編成にあたっては「情報公開の推進と説明責任の徹底を基本姿勢」とするよう示されています。方向性については継続性を維持すべきですが、限られた財源、人(≒職員数)で、質を落とすことなく行政運営を行うには、大胆な発想の転換も必要かもしれません。行政改革＝職員数を減らすというようなことだけではなく、来年度予算においては「なるほど、こういう工夫、改善をするのか」という、キラリと光る取組みを示してほしいと思います。その工夫や努力を示すことが、本当の意味での「情報公開の推進と説明責任の徹底」となり、市民の理解も深まると思います。

【来年度の予算編成における優先施策】

「日本一子育てしやすいまちづくり」に係る施策

- ・妊娠、子育てに関するきめ細やかな相談と支援☆
- ・「待機児童ゼロ」をめざした保育定員の拡充
- ・放課後の子どもの居場所づくりの推進
- ・確かな学力の育成のための教育環境の充実★
- ・教育に関する相談・支援体制の充実★

「住みよい、活気あるまちづくり」に係る施策

- ・地域の特性を活かした魅力ある事業展開
- ・旧日立航空機株式会社変電所の保存と活用
- ・行政サービスにおける利便性の向上
- ・公共施設等の環境改善

「環境にやさしいまちづくり」に係る施策

- ・緑や水などの自然環境の保全と活用
- ・再生可能エネルギーの有効利用
- ・廃棄物の減量とリサイクルの推進

「福祉の行き渡ったまちづくり」に係る施策

- ・上記☆以外
- ・市民の健康増進と健康寿命の延伸
- ・関係機関と連携した地域福祉の推進

「地域力・教育力の向上」に係る施策

- ・上記★以外
- ・地域との連携、協働による学校運営の推進
- ・学校施設の環境改善



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。
「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102